



ことのは

目次

- ・ 理事会議案書（9～12月）
- ・ 県士会より会員みなさまへ
- * 事務局より会費納入のお願い
- * その他・お知らせ

沖縄県言語聴覚士会 理事会議案書(9月)

令和3年9月9日(木)

出席者：久志、玉城(亮)、大濱、崎原(盛)、
崎原(寿)、宮城、伊禮、

記録：宮城

【報告事項】

1. 学術局から

9/7(火)に会議にて前日行われた基礎講座の振り返りを実施。

※報告・懸案事項は以下の通り。

- ・参加証明及び受講証明書は各参加者に対してメールにて送付済み。
- ・参加者のユーザーネームが分かりにくい、また、開始時間直前の入室が多い為に出席確認が難しかった。次回の研修では早めの入室を促し、ユーザーネームの表示方法を統一する必要がある。
- ・案内文内の受講料について勘違いする参加者もおり表示方法はより明確に表示する必要がある。

2. 社会局から

報告事項は特にないが、今月中に「ことのは」HPに掲載予定。

3. 事務局から

HPの更新の件については、引継ぎを行っている途中であるが、まだ、ログインIDがなくまだ修正等が行えていない。今週には目途をつけたい。

4. 各委員会から

◎地推会

ミーティングより、10月に多職種連携コンソーシアムの勉強会あるため助言者の選定等、参加に向けての対応行っていく。また、今週の9/6(月)に西原地区(支部)のケアマネ向けの勉強会(通所と訪問リハ等でのSTの業務内容)を実施。参加ケアマネは50名程度。

◎失語症者向け意思疎通支援事業委員会

講習会の参加者が定員の10名集まったので、月2回の頻度で開催していく。講習会の開催に伴い、接触を伴う実習を行いたいが学院の施設を借りられないか。

◎こども委員会

特になし

5. その他

・各種文書報告(宮城)

1. 「多職種コンソーシアム実践研修会」への助言者副助言者の推薦。→地推会にて対応していく。
2. 「那覇市主催の地域ケアマネジメント会議」について(川満さん宛て)→差出人に電話連絡済み。

【議題】

①PC 購入について

PC の購入については宮城理事の所属する事業所の代表より寄贈したいとの意向あり。当日参加理事の了承もあり寄贈を受けることで決定。

②年会費の集金方法について

現在の集金方法では手間が掛かるためクレジット決済を検討してはどうか。

【沖縄リハビリテーション専門職協会の活動】

8/25(水)に第 6 回理事会があり代議員選挙についてのアナウンスあり。9/1(水)付で公示すること。代議員数は各 PT5 名 OT2 名 ST1 名。

研修会を企画し年内には何本か開催していきたい。

会員数：259 名 [2021/8 現在] (新規：名、変更：名、退会：名)

※カッコ内は含めない人数です。

次回の理事会 日時：2021 年 10 月 14 日 (木) 19：00～ 場所：On Line Meeting

沖縄県言語聴覚士会 理事会議案書(10 月)

令和 3 年 10 月 14 日 (木)

出席者：久志、玉城 (亮)、大濱、崎原 (盛)、
崎原 (寿) 大城、當山、宮城、伊禮

記録：宮城

【報告事項】

1. 学術局から

定期ミーティングにて来月開催の基礎講座についての流れを確認。担当講師は照屋さん、応募開始 10/18 日からスタート。申込から振込確認等の手続きについては前回と同様。前回の反省点を生かせるようにする。

令和 4 年 2 月に予定している症例検討会については設備が整っている場所として学院の使用を想定している。また、施設利用に際しては大濱副理事を通す必要があるのか確認必要(大濱副理事より：基本は学院の卒業生であれば直接学院への施設利用申し込みは可能。ただし、行事等があると使用できないので、事前に行事の有無の確認は私へお願いしたい)。

2. 社会局から

本日「ことのは」掲載予定(理事会議事録5～8月含む)。また、野原さんの参加記を作成したのでHPに載せてほしい。

3. 事務局から

・先日運用を開始した新規入会について現時点で17名の新規入会の申し込みがあった。会員名簿の最新版を各理事に送る。多職種連携コンソーシアムの件についてはメールにて会員に周知予定。
・協会より代議員選挙告示(10/20～立候補者の受付開始)についての案内あり。候補者選定については3役により協議したうえで決定する。また、アンケート依頼(概要：介護報酬診療報酬改定に関わるSTへの影響)が受けているので会員へメールにて配信する。

【学院との連携について】

近年は県内において小児分野で活動するST(新人を含む)が増えている一方で、県士会がその所在を把握できていないのが現状。小児分野においてSTの需要が高い事を考えるとこうしたSTの所在を士会が把握することが必要であり、それが将来的に小児分野での言語療法の充実を図ることが想定される。こうした現状を踏まえて、今後もST養成校である学院と士会の連携をより強くしていく必要があり、こうした取り組みを通じて会員の新規入会件数の増加にも繋げていきたい。具体的な取組等については今後検討していく必要がある。

4. 各委員会から

◎地推会

9月に委員会を開催し、現状及び今後の活動などについて確認。離島地域の担当者とも情報共有を行った。また、多職種連携コンソーシアムの助言者の選定を進めている。

◎失語症者向け意思疎通支援事業委員会

9月から講習開始しており、当事者や講師を招いて行っている。今年度の講習は来年の2月で終了予定だが、その後の運用等については未定。

5. その他

・各種文書報告(宮城)

各文書について、その内容が郵便よりも事務局にメールにて届くことがあるので先に届いた文書については玉城副理事で対応をする。また、メールについては宮城理事についても把握できるよう大濱副理事にて調整行う。

・沖り専協からの報告

9/22第7回の理事会より代議員選挙について報告あり。士会からは崎原理事が引き続き代議員となり選挙管理委員からの承認待ち。

・PT協会主催の市町村向けアドバイザー事業より

久志会長が参加しSTが地域で提供できる支援内容について発表した。また、多良間村担当者より、島内における高齢難聴者向けに介護予防教室に関連して「難聴と認知症(仮称)」をテーマにした講義をして欲しいとの相談あり。今後PT協会より講師派遣の依頼が正式に出る予定なので、講師の選定が必要となってくる。

【議題】

①PCの取り扱いについて（宮城）

寄贈を受けたPCの管理について、1台はHP修正等を行うため立和名理事が、もう1台については使用者が原則所持して、必要があれば事務局内にて保管する。

②各公文書の対応について（宮城、玉城）

「3. 事務局から」を参照

③訪問リハビリテーション振興財団に提出する「アクションプラン」の作成について（玉城）

訪問リハ委員会に所属する野原さんと調整しながら事務局で対応していく。参考として議案書と一緒に資料を送付する。

④九州合同学術大会に関して

主催者より発表者の推薦依頼あり。締め切りが月末の為大型の病院等へ直接依頼を掛ける。

⑤新人STに関して

「3. 事務局から」の【学院との連携について】を参照。

会員数：278名 [2021/10 現在]（新規：18名、変更：3名、退会：0名）

次回の理事会 日時：2021年11月11日（木） 19：00～ 場所：On Line Meeting

沖縄県言語聴覚士会 理事会議案書(11月)

令和3年11月11日（木）

出席者：久志、玉城（亮）、大濱、崎原（盛）、

崎原（寿）宮城、伊禮

記録：宮城

【報告事項】

1. 学術局から

来年2月開催予定の症例検討会についての懸案事項等について。アドバイザーとの情報共有と参加者に対する事前の情報提供はどの程度まで許容するか。個人情報保護の観点からも参加者全員に対して参加が決定した時点で士会の定める「個人情報保護に関する規約に同意する」などのアナウンスは必要。

2. 社会局から

特になし。

3. 事務局から

- ・HPの編集については引継ぎ業務が再開でき遅くとも来週中には取り掛かる見込み。
- ・協会から特定の業者について注意喚起があった。協会との虚偽の関りを利用した業者からの連絡に注意するようにとのこと。協会とは無関係とのことなので各士会でも問い合わせには注意する。
- ・先月の議題にも上がった訪問リハ振興財団によるアクションプランについては、事業内容が専協と大きな変わりはなく、各団体と連携する必要があるとの内容であり、士会としては専協の動向に合わせてもよいのでは。

4. 各委員会から

◎地推会

先月22日にオンライン会議を実施。10/24・25に開催された多職種コンソーシアム実践研修会についての振り返りを行い、誤嚥性肺炎関連の内容もありSTとして有益な情報発信ができた。また、課題として、人材によって技術・知識等が偏るのではなく、それぞれの職種でしっかりと技術・知識が担保され、そのうえで安定したサービスの供給できるような体制が必要とすることが挙げられた。

◎失語症者向け意思疎通支援事業委員会

11/13(土)に第5回目の講習会を開催予定。次年度については、県の担当者から派遣事業の体制を作るのはまだ難しいとの意見がある。1期生の運用を検討する必要があるが、来年度はサロンを開催する予定なので必要に応じて1期生の参加も検討していきたい。

5. その他

・各種文書報告（宮城）

多良間村からの専門職派遣について⇒現在人選中で、学院の屋比久さんへ依頼しているが急遽参加できないことを考慮して第2候補まで選定していく。

・沖リ専協からの報告

11/8(月)の理事会にて研修会の企画が決定し令和4年2月26日(土)に開催予定。講師は東京大学の飯島先生、場所などの詳細は今後決定する。

【議題】

①会員サポート体制について（大濱）

沖縄リハビリテーション福祉学院 言語聴覚学科長：屋比久先生より

新人や年長等を含め会員が現場で困っている状況があり、学院の卒業生から相談が多く寄せられるようになってきている現状から、士会としても会員をサポートする枠組を構築していけないか。また、県内校の出身、県外校の出身、または県外勤務後の来沖など、それぞれの会員の状況は様々であり、学院だけではサポートが難しい人材もいるため、広いサポート体制を構築し継続して取組めるよう士会における事業として頂きたい。

次年度から立ち上げを検討したいが、小児の分野(児童デイ)で実際に離職まで繋がったケースもあり、相談が多く寄せられる現状も踏まえ、理事会の中で何らかの形で協議を積重ねていきたい。体制案としては、新たな部局を設置するか委員会として意見交換ができる場を設ける等が上がる。

②日本言語聴覚士協会 20 周年記念ホームページ作成へのお願いについて（玉城）

・特設サイトにて各県で活動する S Tを紹介する予定となっており、協会より 2 名の選出依頼がある。条件は①ST 歴 1～2 年目（1 名）②ST 歴 9～11 年目。候補者は理事の推薦とし、候補者がいれば理事間で報告し決定する。

会員数：280 名 [2021/11 現在]（新規：2 名、変更：0 名、退会：0 名）

次回の理事会 日時：2021 年 12 月 9 日（木） 19：00～ 場所：On Line Meeting

沖縄県言語聴覚士会 理事会議案書(12 月)

令和 3 年 12 月 9 日（木）

出席者：久志、玉城（亮）、崎原（寿）、
立和名、大城、當山、宮城、伊禮
記録：宮城

【報告事項】

1. 学術局から

11 月 29 日(日)に基礎講座 2 回目を開催。参加者は 14 名で前回は 30 名以上だったので参加率は下がる結果となった。運営上の問題は特になく、2 月の症例検討会に向けて改めて運営上の内容を見直していく。

症例検討会に関しては、題目の締切が令和 4 年 1 月 6 日となっていたが、年末年始等を考慮して 2 週間程度の期間延長をしている。また、前回の理事会にて確認があった症例検討会を開催するにあたって検討事例の情報を事前に提供するかについては、症例検討会申込時に個人情報の取扱いについて厳重に管理する等の誓約的文言を記載したうえで情報を提供する。また、座長やアドバイザー等の謝礼金等については財務にて金額の確認をして次回理事会までに報告。

2. 社会局から

特に報告なし

3. 事務局から

・ HP 編集について進捗報告(立和名理事より)

前任者との引継ぎが滞っていたが、来週以降に編集に関するデータを受取れることで段取りをつけられた。早くて今月下旬ごろから編集が可能となると思われるが、以前から求人掲載の依頼が多数あり、中には締切が既に過ぎている案件もあることから、それらの案件に対する謝罪文などを載せるか検討頂きたい。

また、編集については、今回の引継ぎが滞ったことを踏まえ複数人で管理することについても合わせて検討頂きたい。

【検討結果】

謝罪文については掲載することとし、文面については玉城副理事、立和名理事にて作成する。また、掲載する案件については、継続して掲載を希望しているかを確認するために、取下げの希望等に関する文言も合わせて記載する。

編集については複数名での管理とし、主な担当は立和名理事、補助として宮城理事が編集を担当する。

4. 各委員会から

◎地推会

特に報告なし

◎失語症者向け意思疎通支援事業委員会

特に報告なし

◎こども委員会

特に報告なし

5. その他

・各種文書報告（宮城）

特に報告なし

・沖リ専協からの報告

会議より、令和4年2月に開催予定の研修の運営について検討事項がいくつかあった。一般県民向けの講座もあり、オンラインとするかオンデマンドとするか等次回会議にて改めて協議する。

・久志会長より学校教育連携担当者連絡協議会参加の報告

各都道府県の教育現場におけるSTの連携などについてディスカッション行われた、県内からは聾学校在籍のSTより意見を貰い、久志会長にて報告をした。県内では教育現場や各機関との連携は活発までとはいかないが、概ね良好で今後についても現在の取り組みを継続していくことが望ましい。

【議題】

①日本言語聴覚士協会 20周年記念ホームページ作成へのお願いについて

- ・2名選出必要（ST歴1～2年目（1名）、ST歴9～11年目（1名）計2名）

沖縄リハビリテーションセンター病院より、上記経歴に該当する2名を選出し全会一致で承認。

②年賀状の発送について

発送先リストの確認及び変更・追加は18日までに事務局まで連絡。

③PC寄贈に対する感謝状贈呈の承認について。

宮城理事所属の会社(合同会社 Kind care)よりPC2台を寄贈されたことについて、正式に士会より感謝状を贈呈したい旨の承認事項あり。全会一致にて承認し贈呈については士会を代表して大濱副理事にて対応する。

会員数：280名 [2021/12 現在] (新規：0名、変更：0名、退会：0名)

次回の理事会 日時：2022年1月13日（木） 19：00～ 場所：On Line Meeting

～事務局より～

* 会費納入のお願い

<年会費>

正会員 5,000 円 《言語聴覚士有資格者》

準会員 1,000 円 《言語聴覚障害・発達障害領域に関わる関連職種の方、学生》

振り込み先：下記のいずれかにお振込みください。

琉球銀行 与那原支店 6 0 1 普通 口座番号：5 7 8 5 9 6

加入者名：沖縄県言語聴覚士会

沖縄銀行 与那原支店 2 0 2 普通 口座番号：1 5 9 9 7 2 3

加入者名：沖縄県言語聴覚士会

<送付先>

沖縄県言語聴覚士会事務所

〒902-0067

沖縄県那覇市安里 5 1 番地 地域密着型複合施設 百穂苑内

E-mail : jimmu@st-okinawa.org

Fax : 020-4623-6525

～社会局より～

* 社会局部員募集中です！！！！

主に「ことのは」の発刊作業、ST フェアの開催などです。

興味のある方は下記アドレスまで連絡ください。

社会局 <shakaikyoku@ml.st-okinawa.org>

◆メールに関するお願い◆

現在、研修会や勉強会の案内、県内 ST への協力依頼や求人情報等をメールにて会員の皆様へ配信しています。ですが、メールアドレスの変更やメールの受信設定により、運営理事より送信したメールが会員の皆様のところに届かず、宛先不明で返信されるケースが出てきています。お手数ですが氏名・職場名を明記し、下記アドレスまで変更の連絡をお願いします。また、所属や氏名（女性）の変更についても、ホームページより変更届けをダウンロードして頂き、下記への連絡をお願い致します。

jimmu@st-okinawa.org

メールでの配信に伴い、現在県士会に登録しているメールアドレスが携帯電話の方は、資料のデータ容量が大きい為に見ることができない可能性があります。その為、パソコンのメールアドレス取得をお願いしたいと思います。氏名、職場を明記していただき、同上のアドレスへの送信を宜しくお願い致します。ご多忙な事とは存じますが、御協力の程宜しくお願い致します。

◆確認のお願い◆

沖縄県言語聴覚士会のスムーズな運営を図っていく為に、御協力をお願い致します。

- ・県士会からのメールが届いているかの確認（届かない方は、県士会への連絡や受信設定の確認等をお願い致します。）
- ・年会費は納入しているか（周りに未納の方がいらっしゃいましたら、声かけの方を宜しくお願いします。）
- ・変更届け：所属や名前の変更時に、ホームページよりダウンロードして届け出をお願いします。
- ・県士会のホームページの確認（勉強会や研修会の案内、県内外のS Tの動向等、様々な情報が掲載されています。）

— 発行先 —

発行元：沖縄県言語聴覚士会 社会局

編集人：社会局委員

県士会メールアドレス：<http://st-okinawa.org>